



「失われたものを求めて」

牧師 渡真利彦文

# + 第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

司会：安富英成執事

前奏			会衆
頌栄	5 4 0		〃
主の祈り			
プレイズ	「主の教えを喜びとし」		
	「いのちの光」		
聖書朗読	詩編 8 : 1-10		司会
祈禱	(旧約聖書 p 840)		
賛美	7 5		会衆
説教	「人の子とは何か」		牧師
祈禱			
賛美	新生 2 1		会衆
聖餐			
献金			
報告			司会
頌栄	新生 6 7 2 b		会衆
祝禱			牧師



# 第二礼拝次第 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：ルカ 15 : 11-24

(新約聖書 p 139)

メッセージ：「無条件の愛」

プレイズ：「主の教えを」「いのちの光」

賛美：新生 6 新生 5 7 0



# ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：ダニエル 1 章 1 - 2 1 節

メッセージ：「神さまの計らいによって」

先週水曜日(2日)の祈禱会は、森下貴史先生がメッセージのご奉仕でした。森下先生は熊本県天草の出身で、現在は北海道・網走で伝道牧会に励んでおられる先生です。網走刑務所の非常勤医師、篤志面接官として関わっておられます。

森下先生は、聖書の「放蕩息子」の箇所から証を交えながら話されました。イエス様との出会いのきっかけは大学の頃、聖書研究同好会に導かれたことでした。教会の隣で別の宗教の集いもあり、どちらにしようかと迷ったようですが、教会の集会に出席し、それ以来教会に通うことになりました。医者の道に進むよりも神学校に行き牧師としての道を選ぼうかと悩みました。学業の面も厳しく、孤独感を感じる日々でしたが、不思議と学生仲間には評判のよくない先輩が協力的で支えてくれました。また教会にいても責められるような思いがしていたようですが、ダウン症の方がいつもニコニコして彼を受け入れ、その方から慰められ励まされたそうです。

不思議な導きで、最北端と言われる網走に自分から進んで開拓伝道を希望し現在に至っています。網走は、のけ者にされたような人々、過去に問題のあるような人々やその子孫が多いようです。でも自分も失われていた、放蕩息子のような存在でしたが神に受け入れられたのだから、失われた人々を求めて神さまの働きに仕えていきたいと話しておられました。